

トピックス

「クッチャロ自然の森 だいどう」の
豊かな自然を次の世代に
大同特殊鋼株式会社

日本最北のラムサール条約登録湿地「クッチャロ湖」(北海道枝幸郡浜頓別町)と、その周辺の森を護るため、当社は約40年にわたって環境保護活動に取り組んでいます。

クッチャロ湖周辺は絶滅危惧種のおじろワシやクマガイなど多くの生物が生息する自然豊かな場所で、春と秋には数千羽のハクチョウと多くの渡り鳥が訪れる生き物の楽園です。

当社は2005年にクッチャロ湖畔の社有林を「クッチャロ自然の森 だいどう」と名付け、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとして、植樹や環境教育など様々な環境活動を展開。会社の夏休みには社内の環境意識啓発を目的に従業員と、その家族を対象にした社有林探検や夜のアニマルウォッチなどが体験できる「エコキャンプツアー」を開催しています。

また、クッチャロ湖の環境を学び、護り、広める現地NPO法人「クッチャロ湖エコワーカーズ」を2006年の発足当初から支援。NPO主催の環境フォーラムに参加、地域活性化協力を目的に「北オホーツク100kmマラソン」に2011年の第1回大会からメインスポンサーとして協賛するなど地元住民との協力関係を築いています。

豊かな自然を次の世代に繋いでいくため、これからも私たちは「クッチャロ自然の森 だいどう」の環境保護活動を続けていきます。

